

RI 2780 地区 茅ヶ崎ロータリークラブ週報

1960年8月10日創立

2015～2016年度

第56代会長 大森久巳男

第56代幹事 横山 貢



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2016年6月16日(木) 第2721回例会 天候:雨 司会:大箭剛久幹事 No. 43

***茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

≡本日の例会行事≡

- ◇歌唱 「それでこそロータリー」
- ◇入会セレモニー 新会員 橋本正一君・大沢孝一君
- ◇会長挨拶
- ◇幹事報告
- ◇委員会報告 親睦 他
- ◇卓話 「イニシエーションスピーチ」 小山田安利会員・小澤雅彦会員

◎ゲスト・ビジター

安武 勝様 (清水会員ゲスト) 菊地良夫様 (寒川RC)

◎入会セレモニー

新会員 新会員 橋本正一君 (紹介者:横山貢君 写真右)・大沢孝一君 (紹介者:大森久巳男君・横山貢君 写真左)



スマイル報告 西山国男会員

菊地良夫様 (寒川RC) お世話になります。よろしくお願い致します。

大森久巳男君 & 横山貢君 橋本正一君、大竹孝一君入会おめでとうございます。心から歓迎致します。清水会員ゲスト安武勝様ようこそいらっしゃいました。入会をお待ちしています。小山田様・小澤雅彦様、イニシエーションスピーチ宜しくお願い致します。

木村信一君 橋本様・大竹様入会おめでとうございます。菊地様・安武様いらっしゃいませ。昨日 AM4:20 我が家に元気な男の子が生まれました。私に似てハンサムだったのでおどろきました。

田中賢三君 大勢のお客様と新会員の皆様、ようこそ。エンジョイロータリー、エンジョイライフです。

小澤耕一君 橋本・大竹両君、入会歓迎致します。どうぞ宜しく。小山田君、小澤雅彦君、スピーチ楽しみです。

池上 實君 橋本・大竹おふた方の入会心より歓迎いたします。

程島利通君 山口利通さん、山中湖大変有難うございました。

山口利通君 寒川RCの菊地様ようこそ。いつもお世話様です。

成田栄二君 橋本さん、大竹さん、ご入会おめでとうございます。

伊藤留治君 橋本さん、大竹さん、ご入会おめでとう。菊地様、安武様ようこそいらっしゃいませ。

小山田さん、小澤さん、スピーチ楽しみです。

出口敬純君 ゲストの安武さん、入会お待ちしております。橋本さん、大竹さん、ご入会おめでとうございます。

小林 亨君 お客様ようこそ。特に寒河RCの菊地様、いつもお世話になっております。新入会の方、よろしくお祈りします。

和田幸男君 橋本さん、大竹さん、入会おめでとうございます。ソウル大会の写真ありがとうございました。

亀井信幸君 橋本さん、大竹さん、入会おめでとうございます。安武さん、入会楽しみにしています。

水嶋 聡君 皆様に幸有れ!

吉田恵子君 完全に梅雨ですね。あじさいがとてもきれいです。新会員の橋本様・大竹様ようこそ。小山田さん、小澤さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしております。

杉田祐一君 安武様ようこそいらっしゃいました。橋本さん、大竹さん、ご入会おめでとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

畠田宏治君 ずっと楽しみにしていた本日の小山田さん、小澤さんのスピーチ。ワクワクしています。

富田桂司君 ゲストの安武様いらっしゃいませ。新会員橋本さん、大竹さん、御入会おめでとうございます。例会ウォーキング2回目ですが、梅雨時はダメですね。帰りは雨が降っていたらどなたか車に乗せて下さい。

北村公子君 橋本様・大竹様御入会おめでとうございます。よろしくお祈り致します。小山田様、小澤様イニシエーションスピーチ楽しみです。

小澤雅彦君 ゲストの安武様いらっしゃいませ! 新入会の橋本様・大竹様ようこそ! 一昨日の火曜日、茅ヶ崎市の子育て支援センターで虫歯予防の講演をして参りました6月は虫歯予防月間。皆さん歯を大切に!

木城基次君 橋本さん、大竹さん、ご入会おめでとうございます。私も入会したばかりですが、よろしくお願い致します。

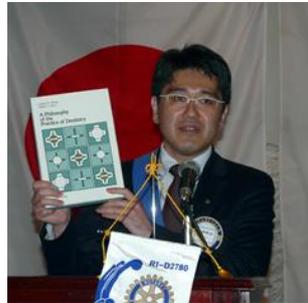
西山国男君 寒川RCの菊地様、ゲスト安武様ようこそいらっしゃいませ。橋本様・大竹様ご入会おめでとうございます。

[本日 24件、40,000円です]

◎出席報告 木村信一会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
6/16	2721	50	47	39	4	4	91.49%	
6/2	2719	48	42+3	37	1+2	5	84.44%	88.89%

卓話「イニシエーションスピーチ」



左) 小山田安利会員 右) 小澤雅彦会員

小山田安利君

2015年12月に入会して、既に半年が経過していて、会員の皆さんともいろいろとお話しているの、今日は自社製品をお持ちしてみました。

私の会社オーゼンは電子製品の設計・製造の会社です。私が会社を引き継いだのは3年前になります。会社自体は50年の歴史があり、笑い袋というヒット商品から始まった会社と言えます。皆さんにわかりやすいように、実物をお持ちしました。

[以下、実演]

- ◆アンパンマンの喋る人形
- ◆E T人形

世界中がターゲットになった映画ですので、この商品は世界に出たその数に皆が驚いたという製品でした。

- ◆竜馬くん人形

たまに「今も持ってます」という人とも出会います。

これらの商品は見た目にはオーゼンの社名が見えませんが、中を見るとオーゼンの刻印が入っています。

- ◆蓄音機

これは販売されたものではなく、社内の記念品として作られたものです。これと同じ仕組みを小さくして入れてあるのが先程ご紹介した商品に入れられていて、この技術を持っている会社が他になかったので、事業として成立したのです。

しかし、やがて時代はアナログからデジタルに変わってゆきました。現在、うちの会社もこうしたアナログ製品は作っていません。音声装置だけではなく、アナログとデジタルを合わせた電子製品全般の設計・製造会社として営んでいます。電子製品という、ここにあるものではプロジェクターやスマートフォンなどです。それらを販売している会社から依頼を受けて、その試作品を作って、それを気に入ってもらえたら量産品を作る、ということをしている会社です。

こちらは皆さんが乗る電車に必ず積まれている音声装置で、運転手に注意を促したりするためのものです。ATS電源が切れていることを警告したりします。また、これは設計したばかりの音声装置で、工場でも無人で走っている輸送機械が今どこを走っているかを作業者に知らせるものです。皆さんの知っている曲が入っているものなので、これも実物をお持ちしました。

これを工場にいる人は一日中間かされるので、あまりに耳障りな曲や急かされる曲は嫌がられます。現在ではCDプレーヤーやスマートフォンでも音楽を奏でられますが、専用の装置として作るにはやはり難しい技術も必要で、仕事として成り立っているわけです。私自身が趣味で作曲とかもしていたので、そうしたこともあって、社内で曲を編集しています。ギターを弾いたり、バンドでボーカルをしていたこともあり、好きなことが仕事になっていて、それが商売になっていてひじょうにありがたいと思っています。

これからもよろしくお願ひ致します。

小澤雅彦君

辻堂駅前でにんべん歯科をやっております小澤です。先週の例会でガバナー月信を頂き、ロータリーソングの由来を知りました。今日そのロータリーソングを歌う時には歴史を噛み締めながら歌わせて頂きました。この歴史あるロータリークラブで、皆さんの前で話させてもらうことを光栄に思います。

また、入会して4ヶ月になります、藤沢ロータリークラブにメークアップに伺ったり、地区協議会に参加させてもらったり、先日は55周年式典で台湾の方々と交流させて頂いたり、ロータリーライブを楽しませてもらっています。

私がロータリーに入会する直接のきっかけは、昨年10月に父が他界し、父の商売の継承のことや相続のことで杉本行廣先生にご相談差し上げたところ、先生から「今、歯医者者の枠が空いているので、いかがですか」とお誘い頂いたことでした。私が歯科医師になったのは1996年でしたが、その時に父が「お前は将来ロータリークラブに入ったらどうだ」と申しておりました。ですから、杉本先生にどうですかと言われた時に、これは父がくれた縁だ、自分の世界を広げるチャンスだと感じ、入ろうと決めました。

それと、私がロータリークラブに入ろうと思ったもう一つのきっかけは、こちらに持ってきた「新会員へのオリエンテーション」という冊子です。杉本先生が入会を誘って下さった時に持って来てくれたものです。するとそこに「自分を知る、仲間を知る、仕事を知る、知識を活用する」と書かれています。これがなぜ私の目に止まったかということをお話させて頂きます。

ここに1冊の本を持ってきました。これは近代歯科の父と呼ばれるアメリカのL.D.パンキー先生が書いたものです。彼は1906年生まれで、1924年に開業したそうです。当時はまだ歯を治療する技術が発達しておらず、虫歯になったらそこから毒素が全身に回ると考えられていたため、歯医者の仕事は抜歯することと入れ歯を作ることでありました。パンキー先生も日に100本も歯を抜いていたそうです。そこにある日当時42歳だった母親からの手紙が届きます。そこには「愛する息子よ。私は先日歯医者に行ったら、歯を全部抜かれ、総入れ歯になってしまいました。人生でこんな悲しい日はなかった。息子よ、もしかしたら、あなたは他人にこんな悲しい思いをさせているのではないか、心配になってこの手紙を書きました。」

この手紙を読んだパンキー先生はひどく動揺して仕事が手につかなくなったそうです。しかし、ある日「もう自分は一生歯を抜かない。今はまだその方法がないかもしれないが、そうだとしたら自分の生涯をかけてその方法を見つけよう」と決心して、自分のオフィスを閉め、大学に入りなおしたり、当時歯科技術の先進国であったフランスに留学し、自分の治療技術に自信を深めていきました。しかし、はじめ治療するということが浸透していなかったため、拒否されたそうです。

そこでパンキー先生は治療を受けてもらうためには、治療技術だけではだめだ、患者に自分の歯の大切さを気づかせることが必要だと考えました。あなたの歯だけでなく人生と幸せに関心があるということを伝える。患者を知らないで治療は出来ない。この患者が自分の歯はだったらどうするか、と考えてみる。そのために自分・自分の仕事を知り知識を活用すること。歯の健康なくしてロータリーライフを楽しむことは出来ません。パンキー先生の仰ったこととロータリーの精神がとても重なっていて驚きました。

相手を知り、また自分のことも知ってもらいたいと思います。これからもよろしくお願ひ致します。